

二通の手紙 ～決まりの意義を考えよう～

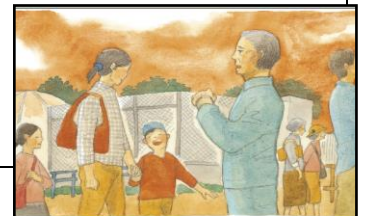


<あらすじ>

動物園の入園係をしていた元さん。ある日、入園終了時刻が過ぎてから幼い姉弟がやってきた。入園時刻を過ぎていること、さらに規則では保護者と同伴でないと入園できないことになっているが、元さんは事情を察して二人を入園させてしまう。ところが、閉園時刻を過ぎても姉弟は戻ってこない。園内の職員総出で二人の捜索が始まった。二人は遊んでいるところを無事に発見され、事なきを得た。数日後、姉弟の母親から謝罪と非常に感謝している旨の手紙が届く。一方、上司からは今回の件を受けて懲戒処分（停職）の文書を受け取る。元さんは「この年になって初めて考えさせられることばかりです。この二通の手紙のおかげですよ。また、新たな出発ができそうです。本当にお世話になりました」と語り、退職した。

<あなたが元さんなら、幼い姉弟を入園させる？ あなたなら元さんの処分に納得できる？>

納得できる		
入 れ る	規則なのでやぶったら処分になるのは当然。でも姉弟には特別な日なので喜ばせてあげたい。	入れてあげたくても姉弟にもし何かあったら謝罪しても責任は取れない。
	規則を守れていないことはわかっていたが、毎日来てくれる姉弟を見て「入れてあげたい」という気持ちになる	1回入れると他の人にも何回もしてしまうかもしれないから。
	幼い姉弟を喜ばせようとした行動に対して、停職処分になるのはわからない。	幼い姉弟だけで入れて事故があっても責任がとれない。でもケガなく戻ってきたから注意で良かった。
	弟の誕生日なのに外で見ているのはかわいそう。喜んでくれたのに処分は重い。	入 れ な い
納得できない		



<動物園の規則にはどんな思いが込められているのか>

- ・子どもたちを危険な目（柵からみを乗り出して落ちる、迷子など）にあわせないため。
- ・時間が短かったら満足できない人がいるから。
- ・事故などがなく、みんなが安全に動物園で楽しんでほしいという思い。
- ・今回の話のように、たくさんの人に迷惑をかけてしまう場合もあるから。



<この時間を通して感じたこと、考えたこと>

- ・元さんの優しさ、思いやりが時には自分を傷つけることもある。
- ・元さんの立場なら元さんと同じ行動をとっていた。規則は人を笑顔にするためなら少しは破ってもいいと思う。
- ・どんなことがあってもダメなことはダメなんだと学んだ。
- ・どんなにその相手がかわいそうだと思っても、何かあってからじゃ遅いので規則は守らなくてはいけない。元さんは自分に対する処分を否定せず受け入れてすごいと思った。
- ・良かれと思った行動のちに大変なことに繋がってしまうかもしれないから後のことを考えて行動することも大切だと思った。